

嶋満神社便り

平成三十年三月号（第二十五号）

発行 嶋満神社奉賛会

稲荷神社の祠ほこしが新調されました！

当社境内にお祭りされていきました「小宮さん」：「お稲荷さんの祠が、このほど浮島会様により、新調されました。」

長年にわたり、嶋満神社と同様、浮島の山上で五穀豊穡、商売繁盛の神様としてお祀りされてきましたが、その祠は長い年月による風化と、昨年の台風十八号及び二十一号の影響で、無残な状況になっておりました。

また嶋満神社拝殿の建物にも同台風による損傷が見られたことから、その修繕とともに行われたものです。

去る二月十八日、夏祭りでもお世話になっていきます岩室稲荷様の森本宮司様にもご足労願ひ、浮島会役員様、奉賛会会員参列のもと、厳かにご遷宮の儀式が執り行われました。

今後とも、嶋満神社同様、末永くお祀りしてまいりたいと思います。どうぞ皆様も、お山へ登られましたらば、拝殿横のお稲荷さんにもお参りくださいますよう、お願いいたします。



価値 静かに残せるか：：

「宗像・沖ノ島」世界遺産登録

（読売新聞十二月二十日付け記事より）

昨年七月、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産登録されました。

本便りの十七号（二十七年十一月）でも宗像大社はご紹介させていただきましたが、大分宇佐八幡宮と並ぶ八幡さんの最重要スポットです。

この宗像大社の沖ノ島（沖津宮）をはじめとする古代祭祀の遺跡群が世界遺産に登録されたのは大変喜ばしいことです。



（沖ノ島）

しかしながらこの遺跡群は立ち入り禁止など、厳しい禁忌によって守られてきた遺跡であるという点で、他の世界遺産とは決定的に違う側面を持っています。

今も沖ノ島は宗教的理由から女人禁制が守られ、昨年放送されたNHKの「歴史秘話ヒストリア」でも、キャスターで筆者が大ファンの井上あさひさんも、上陸して現地からレポートすることは、ありませんでした。

文化審議会の答申により、文化財が地域資源として活用しやすくなる流れの中で、未来に伝えるべき文化財を、現在の世代が食いつぶす「活用」であってはならないと、この記事では述べています。

沖ノ島に伝わる古代祭祀文化が今後も静かなまま保存されていくにはどうすべきか、皆様はどうお考えでしょうか。